

令和元年東日本台風の対応状況等について

- 1 平時の備え
- 2 当日の対応
- 3 被害の概要
- 4 当面の課題

令和2年6月29日(月)

大 崎 市

1 平時の備え

○ハザードマップの改訂

平成29年3月改訂。市内各施設，自主防災組織代表者に配付。

○自主防災組織の結成

平成30年8月1日現在，362行政区すべてで結成。356組織。

○デジタル防災行政無線システムの整備

屋外拡声子局294局。鹿島台地域全戸と難聴地域に対して戸別受信機を設置(約5000戸)。補完システムとして登録制メール配信システム等。平成29年度本格運用。

○各種防災訓練の実施

総合防災訓練，水防演習の実施。各自主防災組織での訓練・講話等。

○宅地のかさ上げ助成

大崎市立地適正化計画に定める居住誘導区域内において，浸水被害を軽減するため住宅のかさ上げ等に対して補助金の交付を行う。

○ハザードマップの改訂



○自主防災組織の活動



【AED取扱い】



【防災講話】

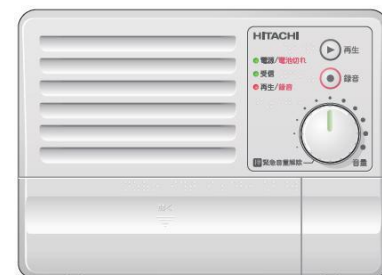


【地区防災訓練】

○デジタル防災行政無線システムの整備



【屋外拡声子局】



【戸別受信機】

○各種防災訓練の実施



【H30総合防災訓練】



【H30総合防災訓練】



【H31水防演習】

大崎市宅地かさ上げ等事業費補助金交付要綱

目的

大崎市立地適正化計画に定める居住誘導区域内において、浸水被害を軽減するため住宅のかさ上げ等に対して補助金の交付を行い、さらに安全・安心な暮らしの確保を目指す。

補助対象者

- (1) 住家の所有者であること。
- (2) 市税を完納していること。
- (3) 同一の建築物等を対象として、この要綱に基づく補助金の交付を受けた者でないこと。

補助対象事業等

- (1) 過去に内水氾濫による床下床上浸水の被害を受けた実績のある住家
- (2) 水防法施行規則（平成12年建設省令第44号）第2条第4項に規定する浸水した場合に想定される水深が3メートルを超える区域にある住家。

補助対象行為

区分	内容
宅地の盛土	宅地に50センチメートル以上の盛土をすること。
住家の建物の基礎のかさ上げ	既存住家の建物の基礎を50センチメートル以上のかさ上げをすること。

補助対象経費	補助率及び限度額
住家の建物の建替えにおける当該宅地のかさ上げ及び建物基礎のかさ上げ工事に要する経費	経費の2分の1とし、100万円を限度に交付する。
既存住家の建物の盛土及び基礎のかさ上げ工事に要する経費	

2 当日の対応

月日	時間	市の動き	警報発令
10/11	10:30	台風19号対応事前打合せ会議	
	15:30	防災行政無線による台風注意喚起放送	
10/12	9:00	1号配備(警戒配備)	
	10:00	市内全域に自主避難所を開設	12:48 暴風警報
	13:00	第1回警戒本部会議	
	15:00	避難準備・高齢者等避難開始発令 指定避難所開設(17:00中央公民館追加)	17:17 大雨警報 19:00 土砂災害警戒情報(東部)
	20:00	避難勧告(古川地域の一部)	20:05 土砂災害警戒情報(西部)
	20:15	避難勧告(三本木地域の一部)	20:34 洪水警報
	20:45	避難勧告(松山, 三本木, 鹿島台, 田尻地域の一部)	
	21:30	2号配備(特別警戒配備) 避難勧告(鹿島台地域大迫地区)	
	22:30	第1回特別警戒本部会議	
	23:00	避難勧告(三本木地域全域)	
	23:50	避難勧告(岩出山地域の一部)	

月日	時間	市の動き	警報発令
10/13	0:30		宮城県に大雨特別警報
	1:00	避難指示(緊急)(市内全域)	
	3:10	越水危険情報(鳴瀬川, 渋井川)	
	3:30	災害対策本部設置 3号配備(非常配備)	
	3:45	災害発生情報(鹿島台地域大迫地区)	
	4:05	災害発生情報(古川地域古川地区)	
	4:20	避難放送(鹿島台地域鎌巻地区)	4:29 大雨特別警報解除 4:29 洪水警報, 暴風警報解除 (西部) 5:45 暴風警報解除(東部)
	8:22	避難放送(鹿島台地域志田谷地地区)	
	11:15	大崎市西部に発令していた全ての避難情報を解除	13:37 大雨警報解除(東部)
	14:00	第1回災害対策本部会議	14:10 土砂災害警戒情報解除 (東部)
	16:00	大崎市東部に発令していた全ての避難情報を解除	

3 被害の概要

○降雨の状況 (大崎市気象観測システムによるもの)

➤ 総雨量 (10/11～10/13)

松山地域 315.5mm ※市内最大

古川地域 194.5mm

鹿島台地域 228.5mm

(292.0mm 仙台管区気象台によるもの)

➤ 1時間最大雨量

松山地域 54.5mm (10/13 1:00) ※市内最大

古川地域 26.0mm (10/13 0:00)

鹿島台地域 37.0mm (10/13 1:00)

➤ 3時間雨量 (10/12 23:00～10/13 2:00)

松山地域 141.0mm ※市内最大

古川地域 69.0mm

鹿島台地域 100.5mm

○被害状況

➤ 河川破堤箇所

吉田川 1箇所 ※大郷町粕川地区

渋井川 1箇所

名蓋川 2箇所

➤ 人の被害

重症者 1名 軽症者 1名

➤ 住家被害

床上浸水 389棟

床下浸水 259棟

➤ 土木施設被災数

741箇所

➤ 推定被害額 108億円

○被害状況（吉田川の破堤）

【令和元年東日本台風による浸水エリア】



○被害状況（吉田川の破堤）

➤ 吉田川の緊急対応経過

吉田川左岸 13日 7:50 堤防決壊

国交省は、同日12:00より緊急復旧工事に着手し、24時間体制での施工を行い27日、17:00 緊急復旧工事を完了した。

➤ 排水作業

○移動ポンプ車 (30～60t/分) × 30台

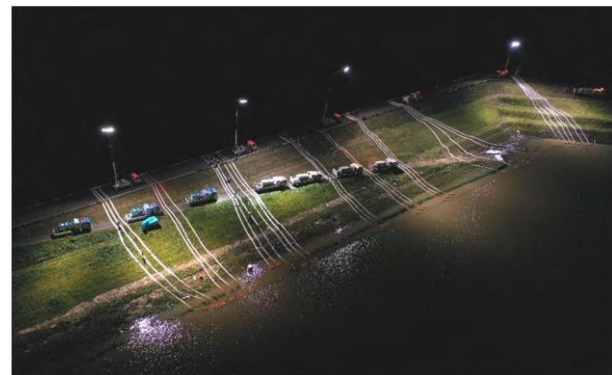
○照明車 × 18台

※10/14～10/23

《国交省TEC-FORCE (秋田、中部、中国、東北技術等)》

○その他、各種ポンプ

《国交省TEC-FORCE、農水省、消防団等》



○被害状況（吉田川の破堤）

◎流出した油への対応

【鹿島台下志田地区】

発生日時：10/16（発生時間は不明） 重油 1, 600 ㍒流出

流出面積：3 1 1 ha

対策経過：10/16 流出通報 オイルフェンス設置

10/18 志田谷地排水機場への流入対応として囲い込み用オイルフェンス設置

10/20 湛水箇所に漂着している油をボートにて吸着マットで回収開始

10/21 堤内水路に漂着している油を吸着マットで回収開始

10/30 現地確認 概ね作業終了

※油吸着マットの寄付：マジックファイバー 約27, 930枚

（エム・テックス株式会社／M-TEchX Inc.）

○被害状況（大量の災害ゴミ）

➤ 大量に発生した災害ゴミ（稲わら等）



↑ 古川地域の稲わら等

鹿島台地域の稲わら等 ↓



○稲わらの処理について

➤ 数量

18,000トン

➤ 一次仮置

市内建設業者の協力により市内14箇所一次仮置

➤ 最終処理（本年9月末までに完了予定）

セメント資材（太平洋セメント（株））※5月末完了済

焼却処理（東京23区清掃一部事務組合等、（株）木村土建、

（株）東海クリーン、大崎地域広域行政事務組合）

発酵堆肥化（日本環境（株））

4 当面の課題

①被災者の住居の確保

旧鹿島台商業高等学校跡地に災害公営住宅(20戸)、宅地造成・分譲(15区画)の整備。

②水害に強いまちづくり共同研究の実施

一般社団法人東北地域づくり協会と共同で、鹿島台地域を対象として、「大崎市流」の水害に強いまちづくりの取り組みを進める。

③情報伝達の充実

避難情報など情報伝達が十分ではなかったという意見があったことから、次の4項目について対応

- ①鹿島台地域に防災行政無線屋外拡声子局7局を増設
- ②国土交通省北上川下流河川事務所に対して、プッシュ型緊急速報メール配信要望
- ③宮城県に対して、危機管理型水位計及び簡易型河川用監視カメラの設置要望
- ④消防団の広報活動体制の整備

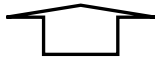
災害公営住宅の整備・分譲宅地造成（旧鹿島台商業高等学校跡地）



水害に強いまちづくり 検討体制（案）

【専門家会議】

「抜本的な」政策提言・意見



有識者（3名）
河川工学・防災・河川行政

★オブザーバー：国土交通省
農林水産省
宮城県

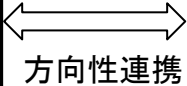
【市民協働】

地域づくりビジョン



ワークショップ

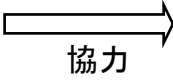
姥ヶ沢地区
志田谷地地区



コンサルタント



国土交通省
東北地方整備局
北上川下流
河川事務所



一般社団法人 **東北地域づくり協会**
大崎市

共同研究

ご清聴ありがとうございました

